

教科横断的な学習の実践（英語科・商業科）

クラス：3年B・C組

指導者：菅原英明（英語）

三浦憲二（商業）

【目的】

- ・グローバル化が進展するなか、ビジネスにおけるコミュニケーションは日本語だけではなく外国語によるコミュニケーションも必要となってきた。このことを受けて、異文化におけるビジネスマナーを学び、これまで学んだ英語力を生かし、課題を解決することができる。
- ・入国審査という具体的な使用場面を設定して、自分のことを相手に伝えるように応答することができる。
- ・会話の即興的な話題に対応できる。

【内容】

商業科	英語科
科目：ビジネス実務 単元：ビジネス英語（入国審査）	科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単元：Enjoy Communication I What is the purpose of your visit?

【指導計画】

内 容	時間配分
国際的なビジネスマナー（商）	1時間
アメリカの入国審査（商）	1時間
ICT 機器による情報収集（商）	2時間
英語の文章構成や音声的特徴の確認と練習（英）	2時間
ALT とのリハーサル（英）	1時間
フィードバック（商）（英）	1時間
実践演習（商）（英）	2時間
振り返り成果と課題（商）	1時間

※実践演習の内容

ビジネスとして訪米し、入国審査の後、訪問先のインフォメーションで指示を受けて、担当者のいる部屋まで行き自己紹介をする。（途中、道案内を求めてくる人あり）



リハーサル



入国審査



インフォメーション



道案内

【生徒による成果と課題】

成 果

- ・長い英文で答えなくても通じる。
- ・英語を書くのと話すのは全然違うことを知った。
- ・前置詞は聞き取れなくても会話はできる。
- ・インターネットの英語は確認することが大事。
- ・伝えようとする気持ちが大切だと思った。
- ・中学校で習った英語が基本になることを知った。
- ・場面と4Wから質問がイメージできた。
- ・全然英語ができていないことに気付いた。
- ・答えは同じでも質問の仕方が多くある。

課 題

- ・海外の文化とマナーを知る。
- ・何事も経験して学んでいく。
- ・日本文化にも目を向ける。
- ・準備を大切にしていく。
- ・日本語も英語も自信をもって話す。
- ・文化の違いがあっても尊重していく。
- ・常に相手のことを考える。
- ・対応力を身に付ける。
- ・英語以外の言語も覚えたい。